

第6学年-Hi, friends!2 Lesson4 単元名 Turn right.[on,by,in,under] (1/5時間)

※この時間は5年生新教材『We can!1』を使用した場合の指導路案である。

1. 単元目標

- ・進んで、おすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・道案内や、物の位置(on, by, in, under)を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すこと慣れ親しむ。また、活字体の小文字を書くことに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・英語と日本語での建物の表し方の違いに気付く。(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材:

○Where is the school? Go straight. Turn right./ left. Stop. Excuse me.

○建物など(park, flower shop, hospital, bookstore, restaurant, supermarket, fire station, police station, convenience store, department store, post office, station) 物の位置を表す言葉(on, by, in, under)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
4分	・挨拶をする ○ポインティングゲーム(pp.50-51)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・これから出てくる文房具について、ポインティングゲームをしながら復習をする。忘れていたことをとがめるのではなく、覚えていたことをほめるようにする。 ・慣れてきたら、指導者がある物を言って、児童がその位置を言うなどしてもよい。 ・また、質問部分を児童に言わせることも考えられる。そのときは、指導者が絵カードなどで「何を」尋ねるかを示すようにする。指導者はそれに答える形で、その位置を言ってもよい。	
5分	○Let's Chant:(p.55) ・リズムに合わせて道案内のチャンツを言う。	・on/in/under/byの位置関係が示されたピクチャーカード(もしくは板書)を使い、楽しく歌わせる。 ・慣れてきたら、位置や方向を児童に選ばせた別のものに替えるなどすると、より意欲が高まるであろう。	デジタル教材
友だちに何がどこにあるか説明しよう。			
15分	○Let's Watch and Think 1(p.51) ・デジタル教材を視聴し、探しているものを見つけて指で押さえる。	・ピクチャーカードを使い、文房具の言い方も復習する。 ・デジタル教材の表現に慣れてきたら、そこで出てこなかった文房具の位置をたずねたり、児童にたずねさせたりして、表現に慣れさせていく。 例) Where is a book? It's on the desk. ◎物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)<行動点検>	デジタル教材
5分	○Let's Listen 1(p.52) ・音声を聞き、登場人物が探している物を見つける。	・物の名称だけでなく、位置関係を表す語を聞き取ることで正答を得られる。 ・表現に慣れてきたら、スクリプト以外の物についてもクイズを行ったり、例) Where is a brown cat?--It's on the bed. Where is a notebook?-- It's on the desk. などのやりとりに発展させたりすることもできる。	デジタル教材
10分	○息ぴったりゲーム[オリジナル活動]	・箱が書いてあるワークシートを用意し、ペアに言われた通り絵を描いていく。説明する児童は箱にイラストを描く。そしてA ball. It's in the box.と相手に伝える。相手は聞き取った内容に沿って、自分のワークシートにイラストを描いていく。背中合わせに座ってやると楽しい。 ※このゲームを行う前に、指導者はデモンストレーションを行い、今からやることをイメージさせる。 ・早くできたペアは物を増やしていくとよい。	ワークシート(各校で作成)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード